

事業報告書

- 検定職種 : 機械保全職種
- 事業年度 : 2024 年度 (2024 年 4 月 1 日 (月) ~2025 年 3 月 31 日 (月))

事 項	計 画	状 況
1 試験科目の認定等 (1) 指定試験機関技能検定委員 の選任計画等 【能開則第63条の9第3項及び第 4項に関する事項について】	・ 試験問題作成担当（査読担当含む）の検定委員は、必要に応じ交代又は追加で選任する。試験問題作成担当の検定委員は、30名～35名程度とする。 ・ 採点や技術的事項の検討を担当する検定委員は、再任および交代・追加により、250名～300名程度を選任する（任期は1年）。 ・ 試験範囲・試験方法を検討する部会を設け、産業界のニーズにあった内容の検討を行う。	・ 試験問題作成担当（査読担当含む）の検定委員数 計32名（首席1名、機械系保全作業5名、電気系保全作業6名、 設備診断作業6名、特級5名、基礎級6名、査読担当4名） ・ 採点や技術的事項の検討を担当する検定委員数 第1回試験（3級）：144名、 第2回試験（1級・2級・3級）：228名
(2) 試験問題等の作成等の計画 【能開則第63条の9第1項に関する 事項について】	・ 試験問題作成委員会を、特級、機械系保全作業（基礎級含む）、電気系保全作業、設備診断作業の4つの部会に分け、各部会の担当委員で検討作成するほか部会を年4回～6回程度（オンライン含む）開催し、技術的検証と確認を行う。 ・ 試験問題作成事務局での根拠調査、チェック強化のほか、引き続き専門校正業者での査読（技術事項以外）も実施するとともに、正解表作成時、公開時の確認体制を強化する。	・ 試験問題作成委員会を下記のとおり開催した。 ※オンライン会議含む 特級：1回 機械系保全作業：1回 電気系保全作業：3回 設備診断作業：1回 電気系保全作業実技試験検討分科会：7回 共通問題作成部会：1回
(3) 試験問題の水準調整会議の 開催計画 【能開則第63条の9第1項に関する 事項について】	・ 3級：4月下旬～6月上旬にて、全国主要都市（※）で各1回実施 開催候補地：仙台、東京、名古屋、大阪、福岡 ・ 1級・2級：10月初旬～11月下旬にて、全国主要都市（※）で各1回実施 開催候補地：仙台、東京、名古屋、大阪、福岡 ・ 出席できない技能検定員向けにはDVD視聴方式により水準調整会議の出席とする	・ 水準調整会議を下記のとおり実施した。 ・ 3級：全国4か所で実施 5月24日（東京）、5月28日（名古屋）、5月29日（大阪）、5月30日（福岡） ・ 1・2級：全国4か所で実施 11月6日（東京）、11月13日（名古屋）、11月14日（大阪）、11月15日（福岡）

事 項	計画	状況
	※実施都市は、検定委員の在住状況、出席状況により最終決定。	出席できない検定委員にはDVD配布による映像視聴方式で水準調整会議を実施した。
2 技能検定試験の実施等 (1) 公示・公表 ① 実施公示 【技能検定実施計画において規定される指定試験機関が行う実施公示】	・ 特級・1級・2級・3級について、ホームページ上において、2024年3月1日（金）から2025年2月28日（金）まで公示する。 ・ 第1回（3級）の詳細は、ホームページ上において2024年3月1日（金）から2025年2月28日（金）まで、第2回（特級・1級・2級・3級）の詳細は、2024年3月1日（金）から2025年2月28日（金）まで掲載する。 ・ 受検案内は、過去3年間に受検者がいた企業、工業高校、関係団体、会員企業等に配布し、周知する。また、ホームページからダウンロードできるようにする。	・ 公示は下記のとおり実施した。 2024年3月1日（金）から2025年2月28日（金）までホームページにて公示内容を掲載した。併せて試験要項、試験概要、受検申請で詳細の案内を掲載した。 ・ 受検案内の配布 過去3年間の申請団体に以下のスケジュールで配布し周知を行った。 3級：2024年3月1日（金） 特級・1級・2級・3級：2024年8月1日（木）
② 実技試験問題の概要、合否基準並びに試験問題及びその正答の公表	① 実技試験（製作等作業試験）の概要 ・ 電気系保全作業（製作等作業試験）の試験問題概要は、ホームページにおいて、試験実施の3週間前を目途に掲載して公表するほか、受検票とともに通知する。 ② 合否基準 ・ ホームページにおいて掲載して公表する。 ③ 試験問題及びその正解の公表 ホームページにおいて、すべての試験日程が終了した日から2週間以内に、問題及び正解を公開する。ただし、機械系保全作業、設備診断作業の判定材料（資料、写真、図版等）及び電気系保全作業（製作等作業試験）の試験問題、機材、正解は公開しない。	① 実技試験の概要【電気系保全作業（製作等作業試験）】 ・ 電気系保全作業（製作等作業試験）は以下の通り公表した 第1回・第2回（3級）：2024年5月8日（水） 第2回（1級・2級・3級）：2024年11月1日（金） ② 合否基準 ・ 運営するホームページにおいて常時公表している ③ 試験問題およびその正答は以下の通り公表した ・ 第1回（3級）：2024年6月28日（金） ・ 特級・1級・3級：ホームページにおいて、2025年1月17日（金）【※】 ・ 2級：ホームページにおいて、2024年12月20日（金）【※】 ※製作等作業試験である電気系保全作業の正答、機材、および判断等試験である機械系保全作業、設備診断作業の判定材料(写真、図版等)は除く

事 項	計画	状況
(2) 受検申請書の受付 【法第47条第1項に関する事項】	① 第1回（3級） ・ インターネット受付：2024年4月1日（月）10:00～4月19日（金）18:00 ・ 郵送受付：2024年4月1日（月）～4月12日（金）消印有効 ② 第2回（特級・1級・2級・3級） ・ インターネット受付：2024年8月26日（月）10:00～9月27日（金）18:00 ・ 特級・1級・2級・3級 郵送受付：2024年8月26日（月）～9月20日（金）消印有効	① 第1回（3級） ・ インターネット受付：2024年4月1日（月）10:00～4月19日（金）18:00 ・ 郵送受付：2024年4月1日（月）～4月12日（金）消印有効 ② 第2回（特級・1級・2級・3級） ・ インターネット受付：2024年8月26日（月）10:00～9月27日（金）18:00 ・ 特級・1級・2級・3級 郵送受付：2024年8月26日（月）～9月20日（金）消印有効
(3) 受検票等の交付に係る計画 【法第47条第1項に関する事項】	申請事項が適正なものに対して、試験日の3週間前～2週間前に、受検票を受検者（または受検申請の取りまとめ者）宛に発送する。	受検票は以下の通り発送した 第1回（3級）： 個人申請 2024年5月17日（金） 団体申請 2025年5月24日（金） 第2回（特級・1級・2級・3級）： 個人申請 2024年11月8日（金） 団体申請 2024年11月15日（金）
(3) 実技試験の実施 【法第47条第1項に関する事項】	別紙のとおり。	別紙1のとおり。
(4) 学科試験の実施 【法第47条第1項に関する事項】	別紙のとおり。	別紙1のとおり。
(5) 試験の合否判定等の状況 【法第47条第1項に関する事項】		・ 合否判定基準に基づき下記のとおり技能士合格と判定した 特級：151人 1級：2,922人 2級：5,155人 3級：5,208人 基礎級：558人

事 項	計画	状況
		随時3級：103人 随時2級：2人
(6) 合格者の発表等 【法第47条第1項に関する事項】	下記のとおり試験日から29営業日以内に合格発表を行う計画で、厚生労働大臣による合否決定の手続き等を実施する。 ① 第1回（3級） 2024年8月2日（金） ② 第2回（2級 電気系保全作業実技試験を除く） 2025年1月31日（金） ③ 第2回（特級・1級・3級 電気系保全作業実技試験を除く） 2025年2月25日（火） ④ 第2回（1級・2級・3級 電気系保全作業実技） 2025年3月21日（金）	・ 厚生労働省による合否決定に基づき下記のとおりホームページへ掲載し、全受検者へ結果通知の発送を行った。 合格発表（ホームページ） ① 第1回（3級）：2024年8月2日（金） ② 第2回（2級 電気系保全作業実技試験を除く）：2025年1月31日（金） ③ 第2回（特級・1級・3級 電気系保全作業実技試験を除く）：2025年2月25日（火） ④ 第2回（1級・2級・3級 電気系保全作業実技）：2025年3月21日（金） 結果通知の発送 ① 第1回（3級）：2024年8月16日（金） ② 第2回（特級・1級・2級・3級）：2025年3月21日（金）
(7)合格証書の交付等の状況	-	・ 技能士合格者に対して、下記のとおり合格証書を交付した。 ※（ ）内は合格証書の再交付件数 特級：151（0）人 1級：2,922（34）人 2級：5,155（70）人 3級：5,208（12）人 基礎級：558（0）人 随時3級：103（0）人 随時2級：2（0）人
3 その他 (1) 秘密保持義務、業務制限等の周知	秘密保持義務、秘密事項の範囲、秘密資料の適切な取扱い及び業務制限について、試験業務に関わる役職員に対しては2024年4月に部内研修で周知し、技能検定委員に対しては、選任時及び水準調整会議において周知徹底する。	・ 秘密保持義務を含む情報管理について、試験業務を担当する職員に対し2024年4月に周知徹底した。 ・ 技能検定委員に対しては、秘密保持および業務制限について選任時に説明するほか、水準調整会議において説明し周知徹底した。

事 項	計画	状況
(2) 試験業務に関する内部監査の実施	試験業務に関与していない役職員を監査担当者に任命し、2025年2月～3月の間に、試験業務を対象に、内部監査を実施する。	・試験業務に関与していない企画管理・調査研究部マネジャーおよび普及推進部マネジャーの職員の2名を監査担当者とし、2025年3月27日（木）に内部監査を実施し、2025年5月14日（水）の理事会にて報告を行った。

別紙 1 試験日・実施地区

- 試験年度 : 2024 年度 (2024 年 4 月 1 日 (月) ~2025 年 3 月 31 日 (月))

等級	区分	計画		実施
		日程	会場	
随時 2 級 随時 3 級 基礎級	学科 実技	2024 年 4 月 1 日 (月) ~2025 年 3 月 31 日 (月) において当会が指定する日	各都道府県において、当会が指定する会場	随時 2 級、随時 3 級、基礎級は下記のとおり試験を実施した。 随時 2 級 : 2024 年 4 月 1 日 (月) ~2025 年 3 月 31 日 (月) 随時 3 級 : 2024 年 4 月 1 日 (月) ~2025 年 3 月 31 日 (月) 基礎級 : 2024 年 4 月 1 日 (月) ~2025 年 3 月 31 日 (月) 当会が指定する場所 (主として、監理団体または受検者が所属する企業内または当会が確保した会場や当会保有の研修室)にて実施した。
3 級	学科	第 1 回 : 2024 年 6 月 23 日 (日) 第 2 回 : 2025 年 1 月 12 日 (日)	- 各都道府県に 1 会場を目安に、設置する。 - 具体的な会場設置場所は、県庁所在地または地理的・交通の便を考慮し、かつ過去 3 年間の実績及び 2023 年度の受検希望者数をもとに決める。実績や希望者が少ない地域でも、他の試験会場までの距離や交通手段を考慮して試験会場を	3 級学科試験は下記のとおり試験を実施した。 第 1 回 : 2024 年 6 月 23 日 (日) 第 2 回 : 2025 年 1 月 12 日 (日) ※実施地区は別紙 2 のとおり
	実技	第 1 回 2024 年 6 月 8 日 (土) ~7 月 7 日 (日) の間で、当会が指定する日に複数回実施 第 2 回 2024 年 11 月 30 日 (土) ~2025 年 2 月 23 日 (日) の間で、当会が指定する日に複数回実施。		3 級実技試験は下記のとおり試験を実施した。 第 1 回 機械系保全作業 : 2024 年 6 月 23 日 (日) 電気系保全作業 : 2024 年 6 月 8 日 (土) ~7 月 7 日 (日) の間で、当会が指定する日に試験を実施した。 第 2 回 機械系保全作業 : 2025 年 1 月 12 日 (日) 電気系保全作業 : 2024 年 11 月 30 日 (土) ~2025 年 2 月 23 日 (日) の間で、当会が指定する日に試験を実施した。 ※実施地区は別紙 2 のとおり

等級	区分	計画		実施
		日程	会場	
特級	学科	2025 年 1 月 12 日（日）	設置することがある。 ・ 企業・学校からの団体申込みの場合、当該企業・学校を会場とすることがある。	特級学科・実技試験は下記のとおり試験を実施した。 2025 年 1 月 12 日（日）に実施した。 ※実施地区は別紙 2 のとおり
	実技			
1 級	学科	2025 年 1 月 12 日（日）		1 級学科試験は下記のとおり試験を実施した。 2025 年 1 月 12 日（日）に実施した。 ※実施地区は別紙 2 のとおり
	実技	機械系保全作業、設備診断作業 2025 年 1 月 12 日（日）電気系保全作業 2024 年 11 月 30 日（土）～ 2025 年 2 月 23 日（日）の間で、 当会が指定する日に複数回実施。		1 級実技試験は下記のとおり試験を実施した。 ① 機械系保全作業、設備診断作業 2025 年 1 月 12 日（日）に実施した。 ② 電気系保全作業 2024 年 11 月 30 日（土）～2025 年 2 月 23 日（日）の間で、 当会が指定する日に試験を実施した。 ※実施地区は別紙 2 のとおり
2 級	学科	2024 年 12 月 15 日（日）		2 級学科試験は下記のとおり試験を実施した。 2024 年 12 月 15 日（日）に実施した。 ※実施地区は別紙 2 のとおり
	実技	機械系保全作業、設備診断作業 2024 年 12 月 15 日（日）電気系保全作業 2024 年 11 月 30 日（土）～ 2025 年 2 月 23 日（日）の間で、 当会が指定する日に複数回実施。		1 級実技試験は下記のとおり試験を実施した。 ① 機械系保全作業、設備診断作業 2024 年 12 月 15 日（日）に実施した。 ② 電気系保全作業 2024 年 11 月 30 日（土）～2025 年 2 月 23 日（日）の間で、 当会が指定する日に試験を実施した。

等級	区分	計画		実施
		日程	会場	
				※実施地区は別紙 2 のとおり

別紙2 <2024 年度 会場設置地区(都市)>

特級 : 28 都市 28 会場

札幌、仙台、水戸、宇都宮、前橋、さいたま、千葉、23区、横浜、新潟、富山、福井、松本、岐阜、浜松、名古屋、津、大津、大阪、神戸、奈良、岡山、広島、山口、高松、福岡、熊本、那覇

1 級 : 学科（機械系保全作業・電気系保全作業・設備診断作業）、実技（機械系保全作業・設備診断作業） 55 都市 55 会場

札幌、青森、北上、仙台、秋田、山形、郡山、水戸、宇都宮、前橋、太田、さいたま、千葉、23区、横浜、相模原、新潟、富山、金沢、福井、甲府、松本、岐阜、静岡、浜松、名古屋、豊橋、岡崎、津、大津、京都、大阪、神戸、姫路、奈良、和歌山、鳥取、松江、岡山、広島、福山、山口、周南、徳島、高松、松山、福岡、北九州、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、那覇

2 級 : 学科（機械系保全作業・電気系保全作業・設備診断作業）、実技（機械系保全作業・設備診断作業） 59 都市 59 会場

札幌、青森、八戸、北上、仙台、秋田、山形、郡山、つくば、水戸、宇都宮、前橋、太田、さいたま、千葉、23区、横浜、相模原、新潟、富山、金沢、福井、甲府、長野、松本、岐阜、静岡、浜松、名古屋、豊橋、岡崎、津、大津、京都、大阪、神戸、姫路、奈良、和歌山、鳥取、松江、岡山、広島、福山、山口、周南、徳島、高松、松山、高知、福岡、北九州、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、那覇

3 級 第 1 回 : 学科（機械系保全作業・電気系保全作業）、実技（機械系保全作業） 61 都市 61 会場

札幌、釧路、青森、八戸、盛岡、北上、仙台、秋田、山形、酒田、郡山、白河、水戸、宇都宮、前橋、さいたま、千葉、23区内、横浜、新潟、長岡、富山、金沢、福井、甲府、長野、松本、岐阜、静岡、浜松、名古屋、津、大津、京都、大阪、神戸、奈良、和歌山、鳥取、松江、江津、岡山、広島、福山、山口、周南、徳島、高松、松山、福岡、北九州、久留米、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、都城、鹿児島、那覇、沖縄

3 級 第 2 回 : 学科（機械系保全作業・電気系保全作業）、実技（機械系保全作業） 61 都市 61 会場

札幌、青森、八戸、盛岡、北上、仙台、秋田、山形、酒田、郡山、白河、水戸、宇都宮、前橋、さいたま、千葉、23区内、横浜、新潟、長岡、富山、金沢、福井、甲府、長野、松本、岐阜、静岡、浜松、名古屋、津、大津、京都、大阪、神戸、奈良、和歌山、鳥取、松江、江津、岡山、広島、福山、山口、周南、徳島、高松、松山、高知、福岡、北九州、久留米、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、都城、鹿児島、那覇、沖縄

3 級 第 1 回：実技（電気系保全作業） 34 都市 35 会場

札幌、釧路、盛岡、秋田、山形、郡山、水戸、宇都宮、前橋、さいたま、千葉、2 3 区、横浜、新潟、金沢、福井、松本、岐阜、静岡、名古屋、津、大津、大阪、松江、岡山、広島、山口、高松、福岡、熊本、大分、宮崎、那覇、沖縄

1 級・2 級・3 級 第 2 回：実技（電気系保全作業） 52 都市 161 会場

札幌、帯広、青森、盛岡、北上、仙台、秋田、山形、酒田、郡山、水戸、宇都宮、前橋、さいたま、千葉、2 3 区、横浜、新潟、富山、金沢、福井、甲府、松本、岐阜、静岡、浜松、名古屋、津、大津、京都、大阪、神戸、姫路、奈良、鳥取、松江、岡山、広島、福山、山口、徳島、高松、松山、福岡、北九州、佐賀、熊本、大分、宮崎、鹿児島、那覇、沖縄

以上

2024年度 機械保全技能検定 収支決算書

2024年度 2024年4月1日～2025年3月31日まで

事業の名称	機械保全技能検定
事業の内容	機械保全技能検定の実施
事業実施法人の名称	公益社団法人日本プラントメンテナンス協会

単位：円

科 目		予算額	当年度	増減
Ⅰ 事業収入	(1)受検手数料	567,958,000	525,476,820	▲ 42,481,180
	(2)その他収入	15,732,000	17,069,200	1,337,200
	(3)事務手数料	4,300,000	4,666,300	366,300
収入合計(A)		587,990,000	547,212,320	▲ 40,777,680
Ⅱ 費用	(1)事業費	509,443,000	445,446,802	▲ 63,996,198
	諸謝金	32,404,000	25,450,743	▲ 6,953,257
	会場費	87,882,000	72,427,486	▲ 15,454,514
	旅費交通費	22,833,000	22,734,451	▲ 98,549
	消耗品費	11,336,000	11,742,883	406,883
	印刷費	18,037,000	14,912,189	▲ 3,124,811
	通信運搬費	63,692,000	61,472,538	▲ 2,219,462
	業務委託費	230,783,000	190,804,745	▲ 39,978,255
	その他	42,476,000	45,901,767	3,425,767
	(2)管理費	118,096,000	104,412,251	▲ 13,683,749
	職員人件費	80,035,000	65,509,754	▲ 14,525,246
	管理物件費	38,061,000	38,902,498	841,498
費用合計(B)		627,539,000	549,859,053	▲ 77,679,947
当期収支(A-B)		▲ 39,549,000	▲ 2,646,733	36,902,267

前期からの累計繰越収支差額	▲ 198,852,078
当期収支差額	▲ 2,646,733
次期への繰越収支差額	▲ 201,498,811